



# 第69回 全国植樹祭 ふくしま 2018

育てよう 希望の森を いのちの森を



主 催

公益社団法人 国土緑化推進機構・福島県

# 式典スケジュール



## プロローグ 13:35~14:20

福島県の紹介映像	
プロローグアトラクション	①霊山太鼓と山木屋太鼓 ②会津彼岸獅子 ③フラ
感謝状贈呈 ・大会テーマ ・シンボルマーク ・大会ポスター原画	贈呈：福島県知事 受贈：各受賞者
東日本大震災復興支援への感謝	贈呈：福島県知事 受贈：愛知県知事、駐日大使代表 立会：復興大臣
もり 森林とのきずなづくり植樹リレーゴールセレモニー	贈呈：(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長 受贈：福島県知事
記念切手の贈呈	贈呈：日本郵便(株)代表取締役社長 受贈：福島県知事
式典行事のご案内	

## 記念式典 14:20~15:10

天皇皇后両陛下 御到着	御先導：福島県知事 お出迎え：大会会長、(公社)国土緑化推進機構理事長
黙とう	
開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
三旗掲揚・国歌斉唱	緑の少年団、ボーイスカウト福島連盟、 ガールスカウト福島県連盟
主催者挨拶	大会会長、福島県知事
表彰 ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ・緑化功労者 ・全日本学校関係緑化コンクール ・福島県森林の功労者	表彰：大会会長、農林水産大臣、文部科学副大臣、福島県知事 受賞：受賞者代表
苗木の贈呈	贈呈：緑の少年団 受贈：農林水産大臣、環境大臣
天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き 代表者記念植樹	御先導：(公社)国土緑化推進機構理事長、福島県知事 介添え：緑の少年団、ボーイスカウト福島連盟、 ガールスカウト福島県連盟 記念植樹：代表者
メインアトラクション	演劇・ダンスによる大会テーマ表現
大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長
リレーセレモニー	福島県知事、愛知県知事 介添え：緑の少年団
閉会のことば	福島県議会議長
天皇皇后両陛下 御退席	御先導：福島県知事 お見送り：大会会長、(公社)国土緑化推進機構理事長

## エピローグ 15:10~15:40

サテライト会場との二元中継	
もり 森林づくりのメッセージ	緑の少年団
エピローグアトラクション	①相馬野馬追の騎馬武者行列 ②「相馬流山」の主題による変奏曲
グランドフィナーレ	全出演者



## 開催理念

福島県は、広大な県土の約7割が森林に覆われた森林県で、県民一人一人が森林に親しみ、守り育てる心を共有しながら、県内各地で森林づくり活動を進めてきました。

しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、海岸防災林が大きな被害を受け、また、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により、森林づくり活動や森林環境学習の場としての活用が低調となり、森林と人との関係が薄れつつあります。

このため、私たちは、全国植樹祭を森林再生の取組の目標とするとともに、国内外からの支援に対する感謝の気持ちを広く発信する大会とします。

また、「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」に記される、

**森林を敬い、あらゆるいのちを尊ぶ心**

**森林にふれあい、豊かに生きる心**

**森林の恵みに感謝し活かす心**

**森林を全ての県民で守り育て未来につなぐ心**

を尊重し、全国植樹祭の開催を通じて、県民一人一人が参画する森林づくり活動をさらに推進します。

以上を踏まえ、次の開催理念のもとに第69回全国植樹祭を開催します。

- 県民参加の森林づくり活動を推進します。
- 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生を目指します。
- 大会開催を契機とし、本県の復興・発展を加速する原動力とします。
- 県内外の多くの方が参加できるようにします。
- 国内外からの支援に対する感謝と復興に向かって強く歩み続ける福島の姿を広く発信します。

## 大会コンセプト

### ふくしまから発信する森林づくり

千年に一度の大災害から復興した海岸防災林を会場に、植樹活動による人と人とのつながり、ふるさとへの思い、未来への希望を、国内外に発信する、被災地において初めての大会です。

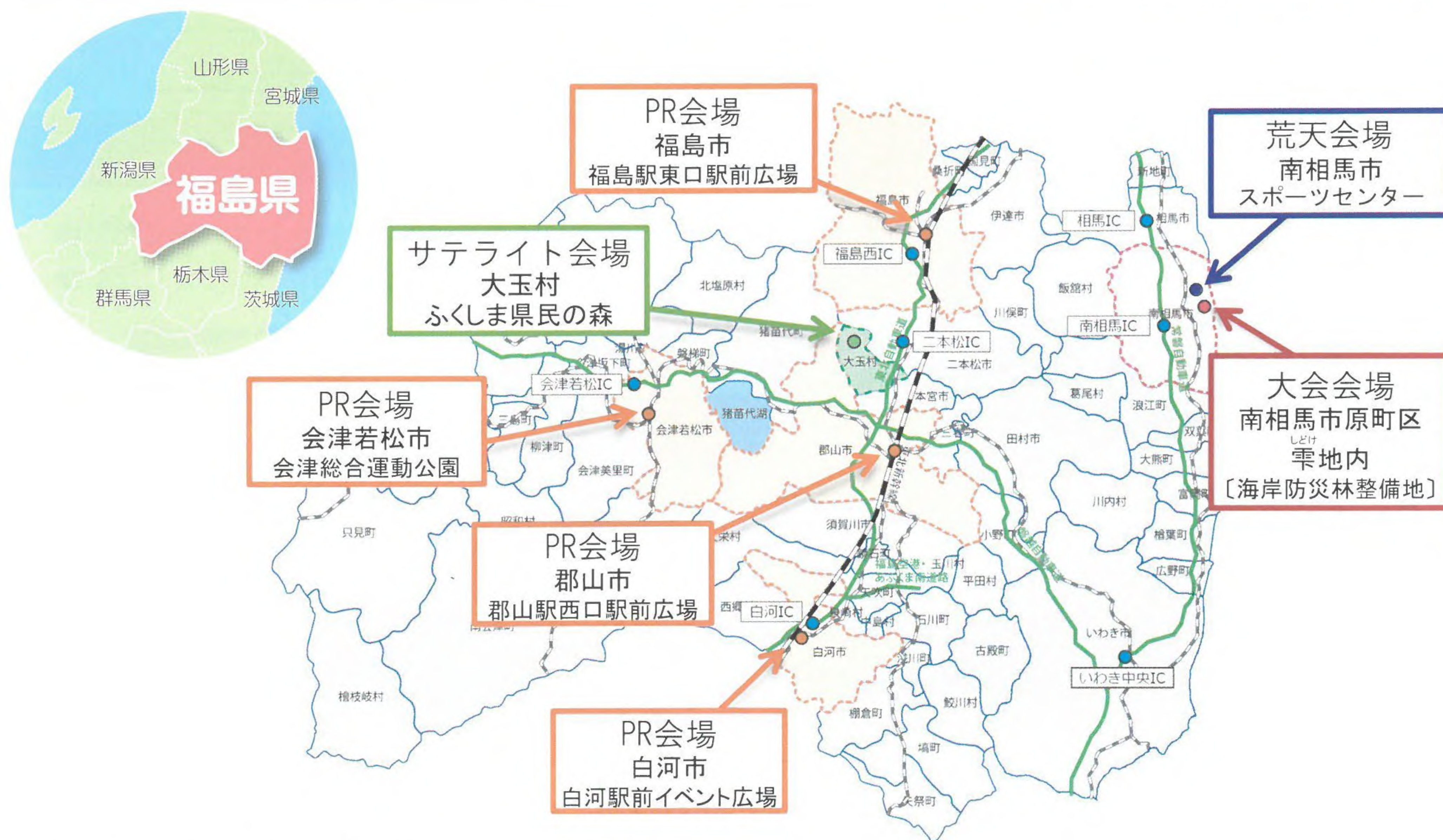
## 開催日 / 主催 / 会場

開催日：平成30年(2018年)6月10日(日)

主催：公益社団法人 国土緑化推進機構・福島県

会場：大会会場 南相馬市原町区<sup>しどけ</sup>雫地内〔海岸防災林整備地〕  
 サテライト会場 大玉村…ふくしま県民の森  
 PR会場 福島市…福島駅東口駅前広場  
 会津若松市…会津総合運動公園  
 郡山市…郡山駅西口駅前広場  
 白河市…白河駅前イベント広場

## 開催会場



- 大会会場とサテライト会場を、双方向中継で結びます。
- 式典の様子は、サテライト会場・PR会場に配信します。

# 大会会場

会場は、南相馬市原町区<sup>しどけ</sup>栗地内の海岸防災林整備地です。復興に向けて力強く歩み続ける姿と、国内外からの支援に対する感謝の気持ちを発信するとともに、県民参加の森林づくりを広く展開します。



●大会会場イメージ図



# 植樹会場

- 招待者は、大会会場に隣接した海岸防災林4.6haで記念植樹を行います。
- 静砂垣<sup>(※1)</sup>により区画された区域毎に植樹を行います。
- 「苗木のスクールステイ<sup>(※2)</sup>」「苗木のホームステイ<sup>(※3)</sup>」等、多くの県民によって育てられた苗木を使用します。
- クロマツ、コナラ等、海岸防災林に適した18種を植樹します。

●招待者記念植樹会場



※1 静砂垣 風による砂の移動を防止し、植栽木の生育環境の整備を図るもの。  
 ※2 苗木のスクールステイ 全国植樹祭等で使用する苗木の一部を、県内の小学校で育成してもらう取組。  
 ※3 苗木のホームステイ 全国植樹祭等で使用する苗木の一部を、県内の企業や団体、家庭で育成してもらう取組。



## お野立て所

- 両陛下にご臨席いただくお野立て所には、県産スギ材を使用しています。
- 柔らかな曲線はなだらかな山並みが連なる阿武隈山地をイメージし、また、異なるアーチの組み合わせは虹をイメージし、県民が明るい未来に向かって歩む姿を表現しています。



## 木製品

- プランターカバーやベンチ等の木製品には、県産材を使用しています。
- プランターカバーは、県内の子どもたちなどが、おもてなしの心をこめて製作しました。



プランターカバー



ベンチ



製作風景

- 式典で使用するお手播き箱や御鍬などの木製品には、第21回全国植樹祭(昭和45年)で昭和天皇・香淳皇后がお手播きされた飯豊スギを使用しています。

お手播き箱



御鍬



御種入れ



## 飾 花

- 会場周辺には、県内の高校生(福島明成高等学校・岩瀬農業高等学校・相馬農業高等学校)が育てたペゴニア、ガザニア、サルビアなどの花をプランターで飾り、会場の雰囲気を引き立てるとともに、参加者をおもてなしの心でお迎えます。



飾花プランター設置イメージ  
(第68回全国植樹祭富山大会)



育苗の様子



## お手植え

### 天皇陛下お手植え樹種 (3種)



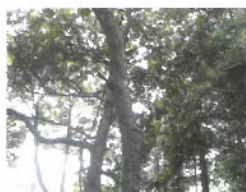
#### クロマツ：海岸防災林の基本樹種

- ・防風、防潮、飛砂防止機能が強く、日本の代表的な海岸防災林の構成種となっており、本県でも江戸時代から植栽されてきました。
- ・東日本大震災に伴う津波により、本県の海岸防災林の6割が失われましたが、現在、復旧工事を進めています。



#### ケヤキ：福島県と大会開催地南相馬市の「木」

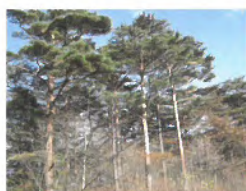
- ・県内に広く分布しています。
- ・優れた材質から、建築用材だけでなく、会津漆器などの伝統工芸品にも幅広く利用されています。
- ・会津若松市の「高瀬の大木」は国指定の天然記念物です。



#### スダジイ：浜通り地方の常緑広葉樹を代表する樹種

- ・防火・防風機能が強く、屋敷林などに利用されています。
- ・本県は分布の北限地で、大会開催地南相馬市の初発神社にあるスダジイは、県指定の天然記念物です。

### 皇后陛下お手植え樹種 (3種)



#### アカマツ：県民に広く親しまれている樹種

- ・海岸防災林の基本樹種のひとつ。
- ・乾燥に強く、低山の尾根部や磐梯山の噴火による泥流堆積地等、県内に広く分布しています。
- ・県内多くの市町村の木に指定されています。
- ・日本三大銀山のひとつ、半田山(桑折町・国見町)における1911年からのアカマツの植栽は、福島県初の治山事業です。



#### ヤマザクラ：県民に広く親しまれている樹種

- ・日本の野生サクラの代表で、県内全域に広く分布しています。
- ・春先に淡い紅色の美しい花を咲かせます。
- ・平安時代後期に、源義家がいわき市の勿来の関で歌を詠んでいます。  
「吹く風を なこそその関と思へども 道もせにちる 山桜かな」(千載和歌集より)



#### ヤブツバキ：浜通り地方沿岸部にみられる常緑広葉樹の代表的な樹種

- ・春先に赤色の美しい花を咲かせます。
- ・屋敷林としての利用のほか、材は堅く緻密なので器具や彫刻材としても利用されています。
- ・県の天然記念物に指定されている波立海岸(いわき市)の樹叢にも、ヤブツバキの群生が見られます。



### 天皇陛下お手播き樹種（2種）



#### 津島マツ：第21回大会のお手植え、お手播き樹種

- 相双地方に生育するアカマツの地域品種で、幹は年輪が均一で緻密、心材の色が美しいなどの特徴があり、銘木として全国的に有名です。
- 昭和45年に本県で開催された第21回全国植樹祭において、昭和天皇がお手植え、香淳皇后がお手播きされました。
- 第21回大会の樹種を引き継ぐことは、震災から復興し、次の世代につないでいくという意味がこめられています。



#### 飯豊スギ：第21回大会のお手播き樹種

- スギは県内民有林の人工林の6割以上を占め、本県を代表する樹種です。建築用材としての利用のほか、古くから暮らしの中で幅広く利用されてきました。
- 飯豊スギは、飯豊連峰の福島県側に分布する天然スギで、雌花・雄花が少ないのが特徴です。
- 昭和45年に本県で開催された第21回全国植樹祭において、昭和天皇がお手播きされました。
- 第21回大会の樹種を引き継ぐことは、震災から復興し、次の世代につないでいくという意味がこめられています。

### 皇后陛下お手播き樹種（2種）



#### ベニシダレ：県民に広く親しまれている樹種

- 三春滝ザクラ（国指定の天然記念物）や合戦場のしだれ桜（福島県緑の文化財）等、県内には多くの古木、巨木が存在し、県民に親しまれています。
- 特に三春滝ザクラは樹齢1000年とも言われ、三春藩主の御用木として大切に保護されてきました。
- 春先に紅色の美しい花を咲かせます。



#### マルバシャリンバイ：東日本大震災被災地の復興のシンボル

- 県内の海岸部に分布する常緑低木で、5月頃白い花を咲かせます。
- 南相馬市鹿島区南海老字北原のマルバシャリンバイ自生地は、自生の北限地として県の天然記念物に指定されています。
- 指定地のマルバシャリンバイは東日本大震災の津波で流出したと思われていましたが、その後も開花がみられ、地域の復興のシンボルとなっています。

## 代表者記念植樹

- 植樹者は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- 場所は、特別招待者席前で行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種を基本としますが、第68回全国植樹祭富山大会で引き継いだエノキ<sup>(※)</sup>も植樹します。

※ 東日本大震災被災地復興支援として、皇居内のエノキから採取した種から育てられ、長野県から富山県、そして福島県へリレーされた苗木。

# 第69回全国植樹祭ふくしま2018



【式典会場】



【植樹会場】